

【主催】群馬県、前橋地方方法務局、群馬県人権擁護委員連合会、群馬県人権啓発活動ネットワーク協議会  
【制作】NPO 法人たかさきコミュニティシネマ

群馬人権映画祭 オンライン上映会

# Human Rights Movie Festa in Gunma 2022

ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま

2022. 12. 10 [sat] **オンライン開催**

**申込制：無料（先着 500 名限定）**

申し込み方法：専用フォームからお申し込みください。

申込期間 12月3日（土）23:00 まで。

定員に達し次第申し込み終了

映画の配信は、お申込みいただいた方へ視聴方法を前日までに  
ご案内いたします。



【配信作品】 2022年12月10日0:00から23:59まで限定配信

上映 1

2011年ぴあフィルムフェスティバル 審査員特別賞受賞作品

『僕らの未来』 飯塚花笑 監督作品（2011年75分）

上映 2

高崎フィルム・コミッション制作

『フタリノセカイ』 飯塚花笑 監督作品（2021年1時間23分）

トーク 1

『僕らの未来』から『フタリノセカイ』 10年間のあゆみ 出演：飯塚花笑 監督

トーク 2

ヒューマンライツ 現状とこれから ～群馬県でのパートナーシップ制度について～  
出演：飯塚花笑氏 / 間々田久渚氏（県内のLGBTQ支援団体一般社団法人ハレルワ代表理事） /  
新保美月氏（群馬県高校生会議メンバー）

オンラインにて上映を行います。申込方法や上映作品の詳細については、特設 WEB サイトにてご確認ください（右記 QR コードまたは以下の URL からアクセスいただけます。申し込みフォームから必要事項を入力・送信後、受信確認で返信メールをお届けします。お申込みから3日経っても返答がない場合はたかさきコミュニティシネマまでご連絡ください。

<https://hrmf-gunma.com/>



【お問い合わせ先】 企画に関するお問い合わせ：群馬県生活子ども部生活子ども課人権同和係 TEL.027-226-2906 / seikatsuka@pref.gunma.lg.jp  
作品や申込に関するお問い合わせ：たかさきコミュニティシネマ（シネマテークたかさき） TEL.027-325-1744 / info@hrmf-gunma.com

# Human Rights Movie Festa in Gunma 2022

みなさんは「人権」ということばからどんな印象を受けますか？「人権」は、だれもが暮らしやすい社会を作るうえで、とても身近で大切なものです。県では「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に則り、県民一人一人の人権を尊重するために、関係機関等と連携し施策を推進しております。今回の「ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま 2022」はこうした取組の一環として開催するものです。新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からも、県民のみなさんが広く、どこでも、だれでも、参加可能なオンライン型のイベントといたしました。この機会が、改めて「人権」について考え、理解を深めていただくきっかけとなれば幸いです。



## 飯塚花笑 (映画監督・脚本家)

1990年生まれ。群馬県出身。大学在学中は映画監督の根岸吉太郎、脚本家の加藤正人に学ぶ。トランスジェンダーである自らの経験を元に制作した「僕らの未来」は、びあフィルムフェスティバルにて審査員特別賞を受賞。国内のみならずバンクーバー国際映画祭等、国外でも高い評価を得た。大学卒業後は「ひとりキャンプで食って寝る」(TV 東京)に脚本で参加。

2022年には、初の劇場公開作品「フタリノセカイ」が話題を呼んでいる。また大阪アジア映画祭コンペティション部門に最新作「世界は僕らに気づかない」が入選。アジア映画の未来を担う最も優秀な才能に贈られる来るべき才能賞を受賞した。



## 『僕らの未来』 飯塚花笑監督作品 2011年 75分



性同一性障害の優は、制服のスカート、想いを伝えられない恋、そしてクラスメイトからのからかいに悩んでいた。そんなある日、恋する相手との手紙をクラスメイト読まれてしまう。それをきっかけに、からかいははじめへとエスカレートしていく。一方家庭では両親の離婚が決まる。性別、人間関係、進路…。絶望の淵に立たされた優は…。初めての人生の選択に直面し、揺れ動く10代の心情を鮮明に描く。

監督・脚本・撮影・編集：飯塚花笑

出演：日向陸 / 佐藤憲一 / 小森隆之 / 福永りょう / 犬飼麻友 / 柴田琢磨 / 佐藤哲哉 / 奥山力 / 阿部将也 / 佐藤建人 / 吉田峻太郎

助監督：根本翼 録音：根本翼 / 野口裕紀 / 村上祥子 / 中島唯  
音楽：佐藤那美

## 『フタリノセカイ』 飯塚花笑監督作品 2021年 1時間 23分 PG-12

この作品は一部暴力的な表現や性的な表現が含まれます



ユイと真也は出会った瞬間恋に落ちた。付き合い始め結婚を約束する二人だったが、真也は自分がトランスジェンダーであることをユイに言い出せずにいた。ある日、その事が思わぬ形で発覚する。確かな愛が互いにある事をわかりつつも、結婚できない、子どもも出来ない現実二人は直面し、悩み続ける。愛する人と共に歩む人生の尊さを正面から捉え、希望を見出す力を描き込んだ十年間の軌跡。

監督・脚本：飯塚花笑

出演：片山友希 / 坂東龍汰 / 嶺豪一 / 持田加奈子 / 手島実優 / 田中美晴 / 大高洋子 / 関幸治 / 松永拓野 / クノ真季子

撮影：根岸憲一 照明：本間光平 録音・効果・整音：紫藤佑 音楽：小野川浩幸

助監督：松下洋平 美術：小林蘭 装飾：龍田哲児 ヘアメイク：浅井美智恵

エグゼクティブプロデューサー：狩野善則 プロデューサー：志尾睦子 スーパーバイザー：青木秀登

エンディング曲：秀吉「ひだまりのいる」

制作：高崎フィルム・コミッション

製作：「フタリノセカイ」製作委員会 配給：アークエンタテインメント

特別協賛：セントラルサービス 企画・製作：プレス

©2021 フタリノセカイ製作委員会

## 映画の中の表現について皆様にお伝えしたいこと

当映画には、トランスジェンダーの真也とその彼女のユイが、ある方法をとって子どもを授かるようとするシーンがあります。このシーンに関して、二人が子どもを授かるために選んだ方法は、あくまで二人が考えて選択した方法であり、他にも様々な方法があることを知っておいていただきたいです。

また、劇中にユイが「レズ」という言葉を使用するシーンがあります。「レズ」や「ホモ」と言った言葉は本来差別用語にあたり、使用すべき言葉ではありません。しかし、主人公のユイが「レズ」という言葉を使うのは、彼女の未熟さであり、LGBTQの当事者間であっても、自らのセクシュアリティとは違う当事者に対して、知識や理解を持っていないことすらある状況と、彼女の未熟さを表現しています。また、最終的にユイは、真也の親友である俊平を受け入れることによって、他のセクシュアリティへの理解をすることとなります。主人公が必ずしも“正しい”わけではなく、成長してゆく姿を見守っていただければ幸いです。